



そういえば
最初はそんな風に
思ってたかったのに

さつき
更衣室で
した時から
ちよつと

違和感を感じ
始めたかも
しれない…っ

まさか
心まで女になって
俺のこと「異性」だと
思い始めたんじゃないだろうな…っ

よかった…
まだ心は
男のままだ…

さす
さす

っつか自分の体で
興奮するなんて
一生ズリネタに
困らねえじゃん…

でもやっぱり
隣に座る
自分を見ると
股間が疼いてくる…

でもこうやって
女の子になった
自分の体を見ると
すっげえ
ドキドキする…

心は男だけど
「カラダ」が
異性を求めている
ってことなのかな…

ところどころ
さっきも聞いたと
思うけど

初めて
会った時の
俺の第一印象
ってどんな
だったの...?

俺の小林さんの
第一印象は
すっごくかわいい
人だなぁって
思ってたけど...

え?

第一
印象?

なんか
キヨドリすぎて
チー牛っぽいし
彼女とかいたこと
なさそうだし

うっ...

正直コイツ
生きてる価値
ねえな
思ってたww

あつても
安心して!
今は微塵も
思っていないからw

そんなことよりもさ...
私たち今は特別な
関係になったんだから

「小林さん」じゃ
なくて下の名前で
呼んで欲しいな♡

あつても
今私が涼君だから
「リョウ」って
呼んでもらった方が
いいのかな♡

ちよつと
待って!

周りに
人がいるのに
距離が近いって!

それでも
ないんじゃない？

すい♡

ほらっ
松岡君と一沙の方
見てみなよ

はふ

ちゅ♡

?

おっお前ら！
何やってんの！？

ちゅ♡♡

おっ♡

ああああ

何やってるって
見れば
分かるじゃん♡

恋人同士
デイループに
愛し合ってる
とこるだよ♡

ねっ♡

ちよっお前
ふざけんなっ!
そいうことは家に
帰ってからやれ!

っつかお前も
もつとよく周りを
確認した方が
いいぞぉ♡

すっげえ
大変なことに
なってるから♡

まわり…?

なっ!
みんな何
やってんの!?

なんで電車の中で
乱行パーティが
始まってんだ!?

!?

じ…実は…
試しに作ってみた
媚薬を使って
みたんだけどさ…♡

思いのほか
媚薬の効き目が
出過ぎちゃってさ…
あん♡

頼む…
そこに落ちてる
香水の蓋
閉めてくれ…

もう俺はダメだ…
脚に力が入らなくて
立てねえ…♡

びっ
媚薬って！

もっともしかして
今までの
心のトキメキは
これのせい!?

ん♡♡

きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡

ゼクゼク

やばい…
すぐくお腹の下が
キュンキュンして…
心臓が痛いくらい
ドキドキしてきた…

ドキ
ドキ♡

きゅん♡
きゅん♡

じゅん♡

このままじゃ…
俺も周りの奴ら
みたいに…



もう
ちよっと…



早く…
蓋をしなきゃ…

くっくっ

あゝっ
吉崎君♡

なんか
楽しそうなこと
してるう♡

もしかして
彼女のことで
ほっといて
浮気しようと
してるう?♡

あ…っ

あゝっ♡

だ〜めだよっ
浮気しちゃ

私のおち○ちんも
すごいち切れそう
なんだからっ♡

チ○チンが…

あ…っ♡

あ…俺…
もう…
ダメだ…♡

お願い…

俺の
おマ○

あやさんので
いっぱい犯して♡

ちゅ♡

はっ♡

はっ♡



あやさんの
おち○ぽが…っ

俺の子宮で
暴れてるう♡

もっ…
もっとおち○ぽ
じゅぽじゅぽ
してほしい♡

おち○ぽ♡
おち○ぽ♡
おち○ぽ♡

こんな
気持ちいいの
初めてえ♡
女の子のカラダ
ちよ♡
気持ちいい♡

お願い…
もっ…
じゅぽじゅぽ
して♡

もっ…
おち○ぽ
ちよ♡
ら♡

ち○ぽ
ち○ぽ
お♡

女の子のおマ○コ
きもちいい♡♡♡



何度もイって
気持ちも収まって
きたけど…
立てない…

はぁ♡
はぁ♡

早く…
蓋を…
しなきゃ…

ガタッ
ブレイッ…

ビクッ

びり♡

よっ
よっ
よかった…

キュッ

これで
大丈夫…
のはず…

ったく…
こんな危ない物
作りやがって…

他の
みんなは…?

うわああああ!!
ちゅあ♡

はぁ♡

はぁ♡

あ
あ
あ

ヤヤ
ハハ
いい
！

が
ト
ツ

離してー

なんで私こんな格好なの!?

きやあ！

まあ
とりあえず……

○○駅、○○駅

足元にお気をつけて……

モ

逃み
げん
ろな
♪つ

松岡のクスリ



お前らも
この辺にいろど
危ないから
とっとと帰れよ

それじゃ
今日はこの辺で
別行動にしようぜ

そんなの分か
ってるって!

誰のせいで
こんなことに...



ここまで
逃げてくれば
大丈夫じゃね?
警察も
いないしっ



ほとぼりが
冷めたころに
またやろうね♡

まちかよ...

でもすつこい
楽しかったね



ねえっ
せつかく
この駅で
降りたんなら
カラオケでもして
帰ろうよ!
そうだな
そうすつか



ねーねー
涼くん
もしよかったら
私の家
近いから来る?

勢いでそのまま
同棲するなんて
どうよ

...どう?

この姿で
俺んちに
帰ったって...
着替えないし...

そもそも明日からの
大学どうすんだ...?

俺...
女として生活
できるのか...?



あれ?
そういえば俺...
どこに帰れば
いいんだ...?



そっか…
そうだよね…

そういうのは
もうやらないって
約束だもんね…

なんか
いつもの格好で来てくれ
とか書いてあったから
ちよっと気になって…

なんか
ごめん…

お断りの
連絡
しとく

ねー
涼くん

もしかして
パパ活
してみたいの？

じゃっ
決まりだねっ

なんかさつきから
パパ活に興味ある
みたいだし

もしかして
やつてみたいの
かな…って…

あーっ！
超顔に出てるん
だけどw
わかりやすう〜♪

今日が涼くんの
パパ活記念日だ♪

あっ
そのおっさん
要求はキモいけど
全然いい人だから
安心してっ！

ほらほらっ
着替えるよ！



あご上げて…
口を半開きに…

そ…っ

キラ

俺？
これが…



これで
準備は
おしまい…

さっ…
心の準備は
できた…？



いっぱい
可愛がって
もらっておいで…



何だこの
美○女…

こんな天使
三次元に
存在しない
んじゃないか
なかつたの
か…？

はぁ…
はぁ…

も…っ
言いすぎだつて、
まだJKで
やつていけるかな
私…



すごく
似合ってますよ
その制服

ああ…
この制服
みなみさんから
貰ったものだ…

やはり
僕の見立ては
間違ってた

貴女は
清楚な装いが
最高に似合う…

貴女の美しい肌を
際立たせるような
純白の制服…

一見
短いスカートが
破廉恥な印象を
与えるが

ニーソックスを
履くことによって
それを補いさらに
美脚効果もある…

そう
なんですよー！

私もそれ
思っていました！

制服一つで
私の魅力を
こんなに引き
出せるなんて

すごいですね
みなみさん！

今夜は長い
夜になりそう
ですね…っ

ええ…っ！

クラシカルなメイド服
によって上品さと
清潔感が増し

貴女の魅力を
最大限引き立てて
いますね

非常に
魅力的ですよ

バニー
ガールです

今度は逆に
セクシーな衣装
を着てみますか

ばっ
バニー…

おおっ
何と妖艶な！

うん
うん
うん

水着と違って光沢があつて
締め付ける構造だからか

お尻や
股に食い込んで
くるし…

なんか変に
ドキドキ
してくる…

やば…♡

やはり貴女は
どんな衣装を
着ても良く
似合う…

はあ…
貴女は本当に
すごい人だ…

僕みたいな
ちっぽけな
人間と違って

貴女は存在
しているだけで
相手の心を
照らしてくれる…

実は今日
貴女をお呼び
したのは

僕の悩みを
聞いて欲しかった
からなんです…

聞いていただけ
ますか？

どうしたんだ？
急に…

実は昨日
僕の部下を
厳しく叱って
しまったんだ...

「まあ」

書類のミスが
あったので
怒っているうちに
激昂してしまって

彼が酷く
傷ついてしまっ
たんじゃないか
と気に病んで
しまって...

へっ!?
それだけの事?

しょうが
ない...
慰めて
あげるか

それって
普通にある事
じゃないの?

こんな衣装
貰っちゃったし

それは辛かった
ですね...

社員さんを
気遣うその気持ち
きつと相手にも
伝わってますよ...

夏...
那さん...?

だから
辛かった時は
私の前では
もっと甘えて
くださいね...



いけない
夏那さん!

清楚な貴女が
こんな事しては

いいですよ…
そんなに肩肘
張らないで…

ぎゅ♡

んっ♡

私はいつでも
みなさんの
味方ですから♡

貴女はこんな事を
してはいけません

でも
ほらっ

本当は
こういう事が
したくて

私に
こんな格好
させたん
でしょ?

ココは
こんなに
正直ですよ♡

みなさん♡



普段はクールぶってるくせにこういう時には奥手なんですか？

だつたらもつと気持ちよくさせていじめちゃおうかな♡

男の時と違って徐々に昂る気持ち…

からかい半分だったのにだんだん子宮の奥が熱くなってきた…

でも頂点は段違い…

男の時には開いてなかった穴から感じられる相手の脈動…

気持ちいい？
気持ちいいでしょ？
みなみさん♡

それが嬉しくて…お腹の奥がキュンキュンしてくる…

私の前では意地張らなくていいんだよ♡

もつと心の奥の欲望を見せてよ♡

やば♡

大の大人を俺の手のひらで転がしているようですっげ興奮する♡

ああやつぱり俺女の子の体の方が向いてるかも♡



あつ
いっ
つ♡

みなみさんの
おち○ちんが
私の奥に…

あつ♡
もうダメ
なんですか？
情けない
ですね♡

なら汚い物
ぜんぶんぶ
私に出して
ください♡

これ以上は
だ…め…

ぐっ♡
ああ…っ



それにしても
なっさけない
顔してますよ
みなみさん♡

また
困った事が
あったら

一緒に気持ち
よくなつて
慰めてあげる
からね♡

いつぱい
射精だね…♡

私の中が
熱いので
満たされ
ました♡

貴女には
幻滅しま
した…

僕はただ
相談に乗っ
て欲しかっ
ただけなの
に

僕の初め
てを奪っ
てしまっ
て…

っつか
童貞だっ
たのかよ…

貴女も
その辺に
いる品
のない
女ども
と一緒
だった
の
です
ね…

やば…
怒らせ
ちゃっ
たかな…

でも…

あんなは
したない
行動をと
ったのは
僕を想っ
ての事だ
ったので
すね…

僕のいた
心を傷
つた貴
女の優
しさを
包み込
んでく
れた…

身を挺
して相
手を護
る母
親のよ
うな
姿…

ますます
貴女の
事が好
きにな
りました

僕の初
めてを
奪った
責任…

きちん
と取っ
てくだ
さいね…

その頃
拓弥たちは…

ねーっ

この後って
どうする
つもりなの？
拓弥君

あー…
この後…？

もちろん
もったかい
女をつかまえて

俺の彼女にして
ハーレム作る
つもりだけど

ちよつと…
それ前から
思ってたん
だけどさっ

むっ

彼女の前で
堂々と浮気宣言
してるような
もんだよね！

アタシ
ヤなんだけど！

もちろん
お前が一番
だって…♡

この俺が一番
最初にお前を
選んだらろ…？
怒んなって

さ…
だったら

今度は
アタシに
やらせてよ…

拓弥君の彼女に
なるってことは
アタシの彼女に
なるってこと
だしさ…

ああ…
いいぜ…

数日後…

拓弥の大学
初めて
来たけど…

どこに
いるんだ…？
アイツ…

テラスにいる
って言うって
けど…

科学大学

ってか昨日も
ずっとあやさんが
離してくれないから
腰が痛い…

あつ
いたいた！

急に
呼び出して
一体どう
したんだ？

っていうか
拓弥たちは
元に戻った
んだな

ちっ
誰だよ
お前！

これがリア充
の悩みという
やつか…

気軽に
話しかけん
じゃねえよ
ババア！



